

葉のくるまのせんごのすだれをあげさゆうの物見をひらく、大臣殿宗盛は淨衣をき給へり、

〔吾妻鏡十五〕建久六年三月九日甲午、今日將軍家源賴朝御參石清水并左女牛若宮等、依爲臨時祭也、

御乘車綱代若公家賴被用繪綱代車御臺所政子駕入葉車被出向給

〔吾妻鏡十八〕元久二年十二月十八日庚午、御臺所源實朝妻御參鶴岳宮、被用御車葉女房出車二兩連

軒

〔明月記〕建永二年四月十六日、賀茂祭、春宮使亮右中辨範朝朝臣、車小八葉、有物見、金銅、八葉付之例也、

〔増鏡九〕新院山龜二月十一文永七年七月、御幸はじめさせ給ふ略、同廿日布衣の御幸はじめ、北白川

殿へいらせ給ふ、八葉の御車、萌木の御狩衣、山吹の二御ぞ、紅の御ひとへうす色のをり物の御さ

しぬきたてまつる、

〔園太曆〕貞和四年十二月廿日、今日新院明光八葉始也、依兼日仰、少將公定、可候御共也、抑今日、左大

將藤原公重直衣始、即可候、新院八葉御車始、御車寄云々、

〔後愚昧記〕應安四年正月十六日、節會散狀、師茂朝臣、注送之、

新宰相中將公兼卿今日申拜賀略、自陣家資教家、一條東洞院參仕、不用車退出之後、自陣家竊乘八葉車、先

來前右大將公直卿亭菊亭仙洞合壁

〔看聞日記〕應永三十年九月十一日、抑昨夕御幸事、委細聞之、申刻出御、八葉御車物見有連子

〔花營三代記〕同康曆三年正月十三日、御參内、年始恒例、

御車八葉御直衣

雨皮持仕丁、退紅笠持舍人略、中

次公卿車八葉各直衣